

「石橋の設計ガイドラインを用いた石橋設計と桁石橋の実状」講習会

石橋の建設を目指すには、設計法の確立、石材の特性把握、架設・施工法等を確立することが求められており、KABSE では研究分科会を設立して研究してきました。また、石橋の維持管理にしても健全度評価法はまだ確立されていない状況です。本研究分科会では、石橋の設計ガイドラインを用いて石橋を設計・施工する手順等を確立するため、スパンが 30m 以下の実石橋を実際に設計し、施工方法及び修景方法などを検討してきました。さらに、桁石橋の実状について架設状況や目地の有無の実態調査を熊本県、大分県、鹿児島県及び福岡県を対象に行い、桁石橋のタイプや構造状況を把握した上で、点検実施した成果をまとめたものです。本講習会は、石橋を有する九州地区の各自治体において必要な、石橋の維持管理と健全度診断に役立つ講習会ですので、多くの関係者の方々に御参加頂ければ幸いです。

主 催：九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）

共 催：土木学会西部支部

後 援：熊本県教育委員会，熊本市，八代市，山都町，熊本県建設業協会

◎土木学会継続教育（CPD）プログラム 認定の講習会

認定番号：JSCE18-1268 単位数：3.8 単位



1. 開催日時：2018 年 12 月 6 日（木）13：00～17：00
2. 会場：熊本大学くすの木会館（〒860-8555 熊本市黒髪 2 丁目 40-1 熊本大学北キャンパス内） 場所は以下のサイトの 8 番
案内地図 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/kurokamikitaku>
3. 講習会の内容：
 - 1) 石橋の設計ガイドラインを用いた実石橋設計と施工
 - 2) 桁石橋の実態調査と健全度評価
 - 3) 石橋研究等の現況紹介
 - 4) 特別講演会：「熊本城復旧計画と大天守石垣の復旧工事」
講師：網田 龍生（熊本市熊本城調査研究センター一副所長）
4. 参加費：KABSE 会員 4,000 円，非会員 6,000 円
※：参加費には、冊子および CD 版のテキスト代を含みます。
土木学会会員は、KABSE 会員費での参加が可能です。
5. 申込方法：氏名，所属，連絡先住所，電話・Fax 番号および E-mail を明記の上，FAX または E-mail にて下記までお申し込み下さい。
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1
サンセルコビル 6F （株）長大福岡支社内
TEL/FAX 092-737-8570 E-mail：jim@kabse.com
申込締切日：2018 年 12 月 3 日（月）（必着）
※定員（90 名）になり次第，締め切らせていただきますので，お早めにお申し込み下さい。

「石橋の設計ガイドラインを用いた石橋設計と桁石橋の実状」講習会

日 時：2018年12月6日（木） 13：00～17：00

会 場：熊本大学くすの木会館

プログラム案

- 13：00～13：10 開会挨拶（KABSE 運営委員長）
- 13：10～14：10 特別講演
「熊本城復旧計画と大天守石垣の復旧工事」
講師：網田 龍生（熊本市熊本城調査研究センター副所長）
- 14：10～15：00 石橋の設計ガイドラインを用いた実石橋設計と施工
講師：筒井 光男（（株）建設プロジェクトセンター）
尾上一哉（尾上建設），久野公德（株）ランドプラン，
西村正三（株）計測リサーチコンサルタント，今泉暁音（福岡大学）
- 15：00～15：10 休憩
- 15：10～16：00 桁石橋の実態調査と健全度評価
講師：中村 秀樹（（株）建設プロジェクトセンター）
岩内 明子（（株）アバンス）
竹下 鉄夫（西日本コンサルタント（株））
- 16：00～16：25 「土木実用アーチ設計法」の平成訳版の活動と内容紹介
講師：草野 健一郎（（株）テクノコンサルタント）
- 16：25～16：50 石橋模型の振動実験による壁石崩壊挙動
講師：山尾 敏孝（熊本大学大学院）
- 16：50～17：00 閉会挨拶（山尾敏孝 研究分科会主査）

司会：岩坪 要（KABSE 講演・講習会委員会委員長）